

2018年11月26日

プレスリリース

DKSH、高級時計メゾンのローラン・フェリエ社と総代理店契約を締結

DKSH ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：マイケル・ロフラード）は、スイスの高級時計メゾン LAURENT FERRIER 社（以後、ローラン・フェリエ社）と総代理店契約を締結し、2019年1月1日より同社製品の日本での取扱いを開始します。

スイス・ジュネーブにアトリエを構えるローラン・フェリエ社は2010年にローラン・フェリエ氏によって創設され、「creatively classic（往年の機械式時計からインスピレーションを得て、現代の最新技術でマスターピースを創作）」を实践する一切の妥協のないクオリティーで、高品質・小ロットのマスターピースを制作しています。自身初のコレクションを2010年にバーゼルワールドで発表すると時計業界の注目を集め、現在も世界中の機械式腕時計ファンから高い人気を獲得しています。



ローラン・フェリエ社の CEO ヴァネッサ・モネステル氏は次のようにコメントしています。「DKSH ジャパンと仕事をすることを非常に楽しみにしています。このパートナーシップは、ローラン・フェリエ社がその美を日本の時計愛好家と分かち合うのに役立つと信じています。」

また、DKSH ジャパンの代表取締役社長マイケル・ロフラードは次のように述べています。「今回、ローラン・フェリエ社と日本総代理店契約を締結することができ、大変嬉しく思っています。弊社の国内外での長年の経験を生かして、日本の時計愛好家に、ローラン・フェリエ社の製品を紹介し、ローラン・フェリエ社の日本でのビジネスに貢献していきたいと思えます。」

ローラン・フェリエ社について

ローラン・フェリエ社は、時計師ローラン・フェリエにより、自らの名前を冠した時計ブランドとして2010年に創業しました。同年、バーゼルワールドで最初のモデルを発表すると、瞬く間に時計業界から注目を集めました。ローラン・フェリエのタイムピースはそのデザインと製造において、シンプルさ、精密さ、純粋さ、精巧美を大切にしています。

また、ローラン・フェリエのタイムピースはクラシックデザイン、最高品質、限定生産の3つの価値に重きを置いて制作されています。その魅力から、時計業界で最も権威があるとされる Grand Prix d'horlogerie Geneve (GPHG) を2018年のメンズ・コンプリケーション部門での受賞を含め、これまで3度受賞し、世界中の高級時計愛好家やコレクターに愛されている時計ブランドです。

DKSH ジャパンについて

DKSH ジャパン株式会社は、世界37のマーケットに850拠点を有するスイスのグローバル企業「DKSH グループ」の一員です。1865年（慶応元年）に横浜で創業した「シイベル・ブレンワルド商会」を源流として、日本の産業と文化の発展に貢献してきました。2009年に社名を日本シイベルヘグナーからDKSH ジャパンに改称、2015年に創業150周年を迎えました。

「DKSH グループ」は、アジア諸国に強固なネットワークとブランド力を持ち、ビジネスパートナーに新規および既存市場でビジネスの拡大を支援する「マーケットエクспанションサービス」のリーディングカンパニーであり、DKSH ジャパンはその中核を担っています。

現在、DKSH ジャパンは「消費財事業部門」、「生産資材事業部門」、「テクノロジー事業部門」の3つの事業部門を展開しています。消費財事業部門は、スイス時計「オメガ」や「モンディーン」などを日本に伝え広めるなど、高性能のスイス時計や筆記具の輸入取扱いとして長い歴史と経験を有しており、現在もモリスラクロアなどの高級時計、ファーバーカステルやラミーなど歴史ある高品質の筆記具を扱っています。

Think Asia. Think DKSH.

本件に関する問い合わせ

DKSH ジャパン株式会社

消費財事業部門

Phone: 03-5441-4515

DKSH ジャパンに関する問い合わせ：

コーポレート・コミュニケーション

牧 あすか

asuka.maki@dksh.comwww.dksh.jp

Phone 03-5730-7342

FAX 03-5730-7333